

令和3年(2021)年度相談役・役員各位

令和 3年 8月 1日

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 石谷 清明
TEL 0797-20-5054

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

8月度 役員会レジュメ

日 時：令和3年8月1日（日）10時～12時（逆瀬川グリーンハイツ集会室）

《 議 題 》

○9:45～10:00「協賛金」集金、及び「各活動団体活動支援助成金」仮払い手続き(会計)

1.報 告 及 び 連 絡（最初に、新役員の方々を紹介）

- (1) 6/6(日)「6月度定時役員会書面表決」について（資料P1）（会長）
- (2) 7/14(水)まちづくり協議会代表者交流会議事（資料P2～P5）（会長）
- (3) 「令和3年度協賛金」集金及び「活動支援助成金」仮払い手続き完了確認（連絡）
- (4) 「電話による高齢者見守りシステム」についての説明（cocot）
- (5) 「まちづくり計画」実施方法について、新規項目かつ市民と市で課題解決すべき課題について、課題解決方法の説明。（宝塚市市民協働推進課）
- (6) 「宝塚市コミュニティ・スクール」について(資料P6～P9)（逆瀬台小学校 田上校長）
- (7) 「兵庫県コミュニティ・スクール」について(資料P10)（県立宝塚高等学校 森井校長）
- (8) 「ゆずり葉まつり」開催について（逆瀬台小学校「ゆずりは会」早川会長）
- (9) 令和3年10/1発行「ゆずり葉だより」夏第105号について（事務局）

①記事原稿締め切り ⇒ 8/15(日)中。

②納品：9/22(水)正午 ⇒ 午後より、随時引き取りしてください。

③引取り場所⇒前回同様です。

- ・戸建て及び宝梅園団地 ⇒ 阪急逆瀬台マンション1階ロビー
- ・白瀬川沿い8マンション ⇒ グリーンハイツ管理人室前

2.議 案

議案 上記「コミュニティ・スクール」の推進による「子どもの見守り」をテーマに、
次回 10/3(日)役員会の前に「福祉ネットワーク会議」を開催する。(資料P11)
(会長)

3.次回日程 10月3日(日)10時 「福祉ネットワーク会議」及び「役員会」については、
コロナの状況を勘案し改めてご通知いたします。 以 上

令和3年6月6日

役員各位

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
(ゆずり葉コミュニティ)
会長 石谷 清明

令和3年6月6日逆瀬台小学校区まちづくり協議会
定時役員会書面表決結果ご報告

いつもお世話になり、有難うございます。

さて、令和3年6月6日(日)逆瀬台小学校区まちづくり協議会(ゆずり葉コミュニティ)定時役員会議案について、書面表決を行いました結果、次のとおりとなりましたので、ご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

(議決件数：19)

議案番号	議案	賛成	反対
議案 1	令和3年度役員・5役及び各委員の選任(5月末)	19	0
議案 2	令和3年度「活動助成交付金」審査結果案	19	0

上記の書面表決の結果、すべての議案について全役員の賛成をもって議決いたしました。

(この書面表決結果をもって、議事録に代えさせていただきます。)

☆役員選任について

役員選任につきましては、書面表決書を配付した5月末日時点のお名前を記載しています。

よって、今後役員が交代になった時点でご報告を お願いします。そしてその都度、役員会にてご承認 頂くこととなりますのでご了承ください。

☆今後の予定

次回役員会は8月1日(日)、「ゆずり葉だより」7月1日号は6月16日(水)配付します。

令和3年度 第1回まちづくり協議会代表者交流会

日時：令和3年（2021年）7月14日（水）14時00分～15時30分

場所：オンライン及び対面（中央公民館 203-204 学習室）

1. 第6次宝塚市総合計画の議決について（政策推進課）（5分）
2. 自己紹介（10分）
3. 令和3年度（2021年度）まちづくり協議会代表者交流会の活動について（案）
（20分）
4. 地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組みについて（市民協働推進課）（20分）
5. コロナ禍におけるまちづくり協議会の活動について（25分）
◆コロナ禍での活動において困っていることや工夫していることなどについて、まちづくり協議会代表者の皆様に情報共有・意見交換いただきます。
6. 市民協働推進課からのお知らせ（10分）
 - (1) デジタル活用状況等アンケートについて
 - (2) （再周知）令和3年度に行政との対話を希望する「具体的な取り組み」及びその優先順位の抽出について（ご依頼）
 - (3) （再周知）地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進する仕組みをまちづくり協議会定例会等でご説明することについて（日程調整のお願い）
 - (4) コミュニティ助成事業について
 - (5) 部会活動への市職員の参加について
 - (6) まちキョングッズ作成について
7. その他
8. 今後の日程

次回日時：令和3年（2021年）9月8日（水）14：00～15：00

（※上記終了時刻は対面開催を想定したものです）

場 所：未定

＜配布資料A＞

- ・資料 02-1_令和3年度（2021年度）まちづくり協議会代表者交流会の活動について（案）
- ・別紙_令和3年度（2021年度）代表者交流会開催日程（令和3年（2021年）7月14日時点）
- ・資料 02-3_（参考）まちづくり協議会代表者交流会設置要綱

- ・資料 03-1_地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組み
- ・資料 03-2_「地域ごとのまちづくり計画を協働で推進するための「対話」と「進捗管理」の仕組みが

できました！」

- 資料 03-3_「地域ごとのまちづくり計画」を協働で推進するための仕組みづくりにかかる検討経過
- 資料 03-4_「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組み案等についてのご意見一覧
- 資料 03-5_令和3年度 地域ごとのまちづくり計画の「対話」「進捗管理」にかかるスケジュール（予定）
- （様式）地域ごとのまちづくり計画推進シート
- （様式）進捗確認シート
- 資料_06(1)-1_デジタル活用状況等アンケート回答状況（令和3年7月7日時点 9まち協分）
- 資料_06(6)-1_まちキョンの新グッズが完成しました！

《配布資料B》

- 第6次宝塚市総合計画（抜粋）

令和3年度（2021 年度）まちづくり協議会代表者交流会の活動について

1 座長・副座長について

座 長：石谷会長（逆瀬台）

副座長：豊田代表（末広）、中谷会長（宝塚第一）

2 開催日程及び開催時の留意点について

(1) 日程

別紙のとおり

(2) 開催時の留意点

ア 新型コロナウイルス対策の実施

- ・ 会議室に入室する人数は、会議室定員の2分の1まで
- ・ 傍聴は当面の間、控えてもらう（万が一お越しになった場合は資料提供のみ）
- ・ 換気の徹底
- ・ 会議時間の短縮
- ・ 入室前に手洗い又は手指消毒の実施
- ・ マスクの着用
- ・ 随時、書面会議やオンライン開催の併用を検討

3 議事の重点項目等

(1) 地域ごとのまちづくり計画

ア 開催時期 随時実施

イ 開催内容 推進シート及び対話状況の情報共有、その他計画の推進に当たって他のまちづくり協議会に聞きたいことについての意見交換など

(2) 新型コロナウイルス禍における地域活動

ア 開催時期 随時実施

イ 開催内容 新型コロナウイルス禍における活動状況・工夫に係る意見交換など

4 ワークショップについて

(1) テーマ案：「～地域活動におけるデジタル活用を考える～」

ア 目的

地域活動におけるデジタル活用について、情報共有及び意見交換を行うことで、効果的な活用方法や課題解決に向けた方策を見出すことを目的とする。

イ 内容

グループに分かれ、デジタル活用（オンライン会議の活用、メールやSNSの活用等）のメリット、課題、課題の解決方策について、情報共有及び意見交換を行う。

(2) 開催時期

令和3年（2021 年）10月頃

(3) 開催方法

開催時の新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ、開催の有無も含めて検討する。

5 まちづくり協議会代表者交流会への社会福祉協議会の参加について

地域活動及び地域ごとのまちづくり計画の推進に大きく関わっていることから、参加
いただく。

地域とともにある 宝塚コミュニティ・スクール

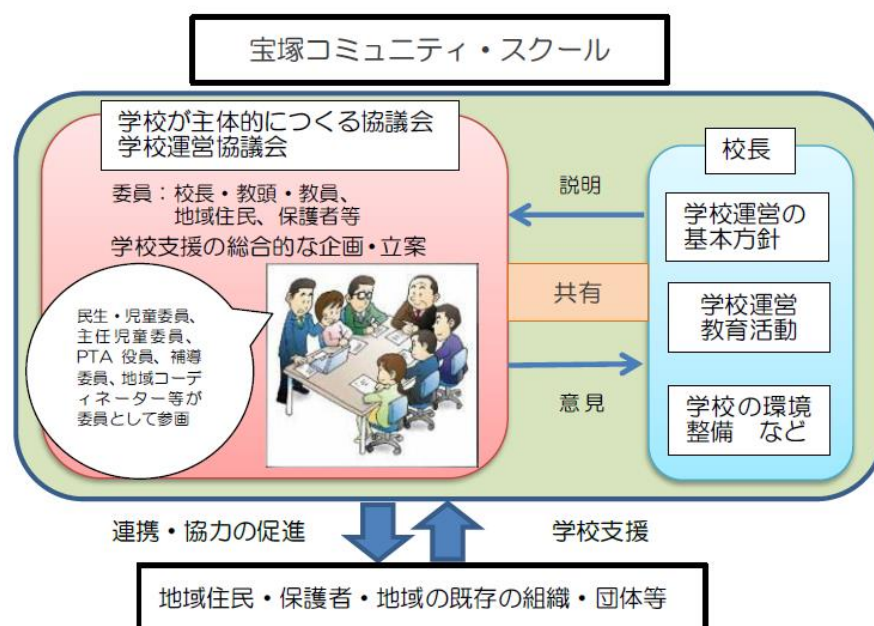
～学校・家庭・地域の連携を～

宝塚市教育委員会 平成30年（2018年）4月

輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。

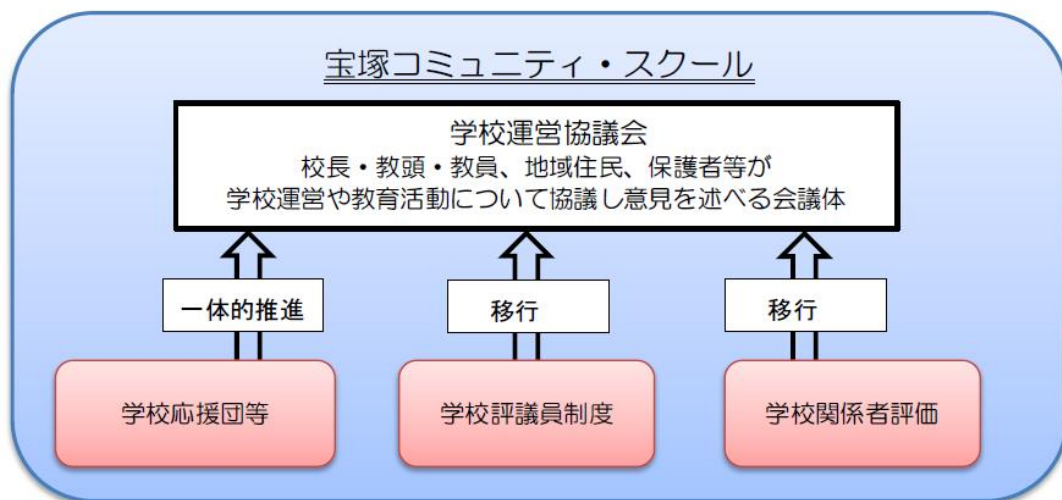
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

本市でも、宝塚市教育振興基本計画（後期計画）重点施策5「学校・家庭・地域の連携を強めます」の主な取り組みとして、「コミュニティ・スクールの指定を検討し、地域に開かれた学校園づくりを進めます。」をあげています。地域の人々による学校園の支援体制が十分に機能し、保護者や地域の方々と連携・協働して、子どもたちの成長を支えていく学校の仕組みとして、「宝塚コミュニティ・スクール」を推進します。



「宝塚コミュニティ・スクール」とは、学校、保護者、地域の方々が参加する協議会「学校運営協議会」を設置し、学校だけではなく保護者、地域も一体となって子どもの教育に関わっていかうとする学校のことです。

地域住民や保護者等が学校運営に参画する持続可能な仕組みの構築へ



類似の仕組みからコミュニティ・スクールに発展する主なメリット

- ・校長の求めに応じて学校運営協議会を開催するので、学校課題に対して、即応した取り組みが可能になります。
- ・学校、家庭、地域において共通したビジョンをもった教育支援活動が可能となり、主体的・能動的な取り組みとなります。
- ・学校運営の改善を果たすP（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルが確立しやすくなります。
- ・子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- ・自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- ・地域の担い手としての自覚が高まります。
- ・防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

学校支援の様子



*平成30年度（2018 年度）から、市内2小学校がモデル校としてコミュニティ・スクールを実施します。今後は、全ての学校が、この仕組みの導入を通して、保護者や地域の方々と共に、地域に開かれた学校から、地域とともにある学校づくりをめざします。

1 宝塚型コミュニティ・スクールとは

子どもたちや学校を取り巻く環境が複雑化、多様化する中、子どもたちや地域の輝く未来を創るためには、「社会総掛かり」での対応、学校、家庭、地域による一体的な取組が必要です。「コミュニティ・スクール」とは、学校が、保護者や地域の方々と連携・協働して、子どもたちの成長を支えていくために、保護者と地域の方々が参加する協議会「学校運営協議会」を設置した学校です。協議会では、学校の教育課題等を共有し、その解決や改善に向けて、地域の人々による学校園の支援体制が十分に機能し、「地域と共に歩む学校づくり」をめざします。そのため、法令にとらわれず学校運営の独自性を残しながら、より柔軟な運用ができるようにしたのが「宝塚型コミュニティ・スクール」です。

2 宝塚型コミュニティ・スクールを実施していくと

学校地域運営協議会の委員としては学校評議員、まちづくり協議会代表、PTA代表、青少年育成市民会議代表、自治会代表等、それぞれに関わる代表者が考えられます。代表者が会議体を形成することで、学校支援や評価にとどまらず、組織的に連携・協働する体制を確立していくことができます。学校と地域のめざすべき連携・協働の姿を模索し、子どもも大人も学び合い育ちあう教育体制の構築をすすめていくことで、学校を核とした地域づくりが推進できます。

学校支援を通して、子どもたちは学びや体験活動を充実させ、自己肯定感や他を思いやる心、地域の担い手としての自覚を育んでいきます。保護者や地域の方々にとっては、学校や地域への理解が深まり、地域の中で子どもが育てられているという安心感、自己有用感につながり、地域ネットワークが形成されます。教職員は、地域の理解と協力を得た学校運営、子どもと向き合う時間の確保ができます。

3 逆瀬台小学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のめざすべき方向性

これまで、逆瀬台小学校では、体験活動の支援、育成会児童の下校支援、防犯パトロール等の支援を受けてきました。しかし、コロナ禍もあり、地域と学校の連携が充実の方向に進んでいるとはいえない状況のように思います。

現行の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」の視点にたった授業改善を求められています。改善事項として、言語能力の確実な育成、理数教育・伝統文化に関する教育等の12項目があげられています。そのため、学校では、外国語活動の指導補助、昔遊びの指導、寺子屋（放課後学習支援）、防災教育、学校環境整備等々、様々な支援が必要です。

長期的展望としては、開校以来の学校教育目標「たくましく やさしく あかるい 逆瀬台っ子の育成」の実現に向け、教育理念の共通理解、具体的支援策、人材の割り当て、年間の教育活動の評価と次年度の目標設定等を学校運営協議会で協議し、本校の教育推進に参画していただきたいです。

そのために、まず、各団体から推薦いただいた方々により組織を立ち上げ、委員の皆様に、本校の教育活動や学校の現状を知っていただくことから始めていきたいと考えています。学校の考え方や現状を通して、忌憚のないご意見をいただきたい。そして、学校運営委員会で成果と課題を整理し、具体的な支援策の立案、人材発掘等を徐々に実現できるように進めていきたいと考えています。

Q11 兵庫県版CSでいうところの地域社会とは

A11 学校が必要な支援を求める学校以外の存在全てを指します。

(例：自治体、民間企業、大学、事業所や作業所、学校所在地や通学区域等の「地域団体・地域人材」、学校園等)

Q12 地域社会との連携とは、どのような内容を想定しているか。

A12 総合的な学習の時間における「探究学習」、課題研究、地域社会との連携に関する「学校設定科目」、交流及び共同学習、兵庫型キャリア教育、ふるさと貢献活動等の授業や事業の他、合同の避難訓練や学校施設（図書室やグラウンド、食堂等）を地域とともに活用する取組等も考えられます。

そのような活動において、運営協議会委員が当事者となり、主体的に関わることができる活動を増やすことを目指しています。

【委員が主体となって行う活動例】

- (1) 学校の特色を活かした地域と生徒の接続
 - ・ 地域社会の大人と生徒との接続などの事業運営に参画
- (2) 県立学校の魅力化に向けた情報発信
 - ・ 各校の研究成果や学校行事等の情報発信（地域の祭りやイベントへの参加調整）
 - ・ オープンハイスクール、交流及び共同学習、学校行事の運営サポート（地域、小・中学校等の連携・調整含む）
- (3) 学校と地域の企業、商工会や経済団体との接続
 - ・ インターン、就職・職業体験等の企画・立案、斡旋
- (4) 学校生安全・安心サポート（登下校、夜間見回りや災害時の対応等）
 - ・ 安全ボランティアの募集・配置
 - ・ 災害時に対応できる体制づくり
- (5) 校内美化サポート
 - ・ 校内消毒作業、環境整備等ボランティアの募集・配置
- (6) PTA（育友会）の運営業務
- (7) その他
 - ・ 各市町、団体等からの依頼への窓口業務
 - ・ 地域資源の把握と発掘（人材、有形・無形の教育活動に適した資源）
 - ・ 事業及び行事実施後の振り返り、フォローアップ、協力者へのお礼、実施記録まとめ

A4に記載のとおり「学校運営協議会委員」には、学校が求める支援や地域が目指す人づくりを理解し、主体的に実践する方を選任いただくことが望まれます。

設置当初にそのような方を選任いただくことは困難であると考えますが、運営協議会において実際に協議し、活動を重ねていく中で、そのような方が養成されていくものと期待されます。

学校と、学校を支援する側（企業、団体、大学、地域等）の双方にとって有益な活動であることが望ましいと考えます。

【逆瀬台小学校『ゆずり葉まつり』中止（廃止）のお知らせ。】

はじめまして。今年度、逆瀬台小学校のPTA（ゆずりは会）会長を務めさせていただいております早川卓馬と申します。

例年、毎年秋に開催されてきました【ゆずり葉まつり】につきまして、昨年度にひきつづき、本年度も中止させていただくことになりましたことをご報告させていただきます。

加えて、来年度以降の開催につきましても、誠に残念ではございますが、ここで一旦、見合わせることにいたしました。

当校のPTA（ゆずりは会）では、その任期が基本的には一年間という限定的なものになることから、少なくとも2年のブランクがある状態での業務引き継ぎに際し、大きな問題が生じるだろうというところが、その主な理由となります。

【ゆずり葉まつり】は、地域の方々の多大なるご協力をいただきつつ、なにより子どもたちにとっての楽しみの場として長年に渡り開催され続けてきたお祭りです。ここに至るまでの経緯を私はすべて存じ上げているわけではございませんが、これまで運営に携わられ、そのお力を注いでいただきました皆様、子どもたちに特別な思い出を与えてくださいましたこと、この場をお借りし、保護者を代表して心から深く御礼申し上げます。本当に、本当に、ありがとうございました。

今後のことにつきましては、現運営委員のメンバーと共に、「それでもなにか子どもたちにできることはないか」と実現可能な新たな催し物を企画しております。こんな“今”だからこそできること、を模索してまいります。

実現に至ることができました場合は、各自治体のみなさまにもお知らせをさせていただければと思っておりますので、その際は、ぜひ、ご協力をいただけますよう、引き続き、宜しくお願い申し上げます。

逆瀬台小学校PTA（ゆずりは会）会長 早川卓馬

逆瀬台小学校区「福祉ネットワーク会議」（素案）

開催日時： 令和3年10月3日（日）10時～11時30分

会 場： 逆瀬川グリーンハイツ集会室

テ ー マ： 子どもの見守りと「コミュニティスクール」の立ち上げ
（宝塚市立逆瀬台小学校、及び 県立宝塚高等学校）

内 容：
（各関係者のテーマ出しのお話し）

- 1、 令和3年度まちづくり協議会代表者交流会活動方針と 「まちづくり計画」の実施について（5分）
- 2、 宝塚型コミュニティスクールについて 逆瀬台小学校 田上校長先生（10分）
（地域と協働で出来る事）
- 3、 コミュニティスクールについて兵庫県立宝塚高等学校 森井校長先生（10分）
（地域と協働で出来る事）
- 4、 逆瀬台小学校PTA＜ゆずりは会＞会長 早川さん
子ども達の未来に向けて、地域と協働で取り組むべき課題について（10分）

（グループワークの実施）

・社協 岸本さん 「グループワークの進め方について説明」

- 5、 各グループで、進行役、書記役、まとめ役を決め、A3の紙にまとめる。
（感想・できそうなこと・みんなに伝えたいこと）の意見交換・情報共有（30分）
 - 6、 各グループで話し合いの中身のまとめ、発表、全体共有（各グループ 2～3分）
- 最後に ゆずり葉コミュニティ相談役（逆瀬台自治会） 井篋さん（5分）

以 上

※このレジューメは、あくまでも素案です。今後、各関係者と詰めを行います。

※事務連絡 ゆずり葉コミュニティ、社協、包括

※終了後「ゆずり葉コミュニティ役員会」開催